

FFG グリーン預金フレームワーク

2024 年 11 月 26 日

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ

福岡県福岡市中央区大手門一丁目 8 番 3 号

目次

FFG グリーン預金フレームワーク	1
1. はじめに	2
1-1. 会社概要	2
1-2. サステナビリティへの取り組み	2
<サステナビリティ方針>	2
1-3. グリーン預金の位置付け	2
<FFG グリーン預金の概要>	2
2. グリーン預金の資金使途	3
2-1. グリーン預金の充当予定の資金使途	3
2-2. ネガティブインパクト	3
3. グリーン預金の資金使途の評価および選定のプロセス	3
3-1. 環境面での目標	3
3-2. グリーン預金の資金使途の評価・選定のプロセス	4
4. 調達資金の管理方針	4
4-1. 調達資金の管理方法	4
4-2. 未充当資金の運用方法	4
5. レポーティング方針	4
5-1. レポート方法	4
5-2. 開示内容	5
5-3. レポーティング体制	5
6. 外部レビュー方針	5

1. はじめに

1-1. 会社概要

ふくおかフィナンシャルグループは、九州全域にネットワークを構築する広域展開型の地域金融グループです。九州を地盤にそれぞれ長い歴史をもつ福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、福岡中央銀行の4つの地方銀行、日本初のデジタルバンクであるみんなの銀行を中心に、証券会社、カード会社、コンサルティング会社などの関連会社を有し、多様なグループ機能を備えています。地域金融機関としては国内最大規模を誇ります。

1-2. サステナビリティへの取り組み

ふくおかフィナンシャルグループは、地域の持続的な発展に向け、グループ経営理念に基づく事業活動を通じて、地域が抱える社会課題、環境課題の解決に取り組んでいます。ふくおかフィナンシャルグループのこのような事業活動の取り組みは、世界的に関心が高まっている、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）と考え方を同じくするものであり、SDGsに対する基本的な方針として「サステナビリティ方針」を制定し、事業活動との一体性を高めることで、持続可能な地域社会の実現（サステナビリティ）を目指しています。

<サステナビリティ方針>

ふくおかフィナンシャルグループは、グループ経営理念に基づく事業活動への取り組みを通じて、「地域経済発展への貢献」と「FFG 企業価値の向上」の好循環サイクルを創出し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります

1-3. グリーン預金の位置付け

ふくおかフィナンシャルグループでは、お客さまの環境・社会課題解決、脱炭素社会の実現に資するファイナンスを「サステナブルファイナンス」と位置づけ、取り組みを強化してまいりました。「FFG グリーン預金」は、FFG のサステナビリティ活動への取組において、預金と融資をつなげる形で実践するものです。

<FFG グリーン預金の概要>

- ・ グリーン預金は、お客さまからお預かりする資金を、再生可能エネルギー分野をはじめとした環境分野向けのファイナンスに充当することで、お客さまに ESG／SDGs 分野での取組機会を提供する預金です
- ・ 「FFG グリーン預金」は、「FFG グリーン預金フレームワーク」を作成し、傘下各行のグリーン融資残高とグリーン預金調達金額を FFG 一体で管理します

2. グリーン預金の資金使途

2-1. グリーン預金の充当予定の資金使途

本グリーン預金による調達資金は、以下の使途の新規の貸出、または既存融資に充当される予定です。既存融資に充当する場合は、過去3年以内に実行された貸出を対象とします。

カテゴリー	資金使途
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電（持続可能な原料または廃棄物に限る）、小規模水力発電、蓄電池（容量市場、卸電力事業、需給調整市場等の電力市場を活用して電力事業を行う、蓄電池事業に対する融資）

2-2. ネガティブインパクト

ふくおかフィナンシャルグループでは、融資業務における環境・社会への配慮のため、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、福岡中央銀行において、禁止する融資、取組みに際し留意する融資を定めています。

3. グリーン預金の資金使途の評価および選定のプロセス

3-1. 環境面での目標

ふくおかフィナンシャルグループでは、2021年10月にお取引先の環境・社会課題解決、脱炭素社会に資するファイナンスを「サステナブルファイナンス」と位置づけ、その累積実行額目標を「2020年度から2030年度までに2兆円（うち、環境1兆円）」としました。また、地域の脱炭素に向けた取り組みを加速させるため、ふくおかフィナンシャルグループにおけるCO2排出量（Scope1,2）削減目標を2022年5月に、「2030年度までにネットゼロ」としました。目標達成に向けて、店舗建替え時に環境配慮型店舗へシフトすることや、高効率な空調への切替、LED照明の採用など、省エネ施策を実施していきます。加えて、現在使用している電力を再エネ由来電源へ切り替えていくことも検討していきます。また、長期目線での取り組みとして、太陽光等の自家発電および、コーポレートPPAについても検討を行っています。

3-2. グリーン預金の資金使途の評価・選定のプロセス

本使途の選定にあたっては、ふくおかフィナンシャルグループのサステナビリティ方針を考慮し決定しました。対象案件の適合性の確認は、本使途を踏まえ営業統括部が実施します。

4. 調達資金の管理方針

4-1. 調達資金の管理方法

本グリーン預金による調達資金の充当管理は営業統括部が行います。本グリーン預金による調達資金総額、使途への充当済資金、未充当資金は、電子ファイルにて管理します。全ての調達資金が充当されるまでの間は、未充当額と充当額の合計が調達資金全額と整合するように管理し、これらの確認はグリーン預金から対象使途への資金充当があった都度実施します。全てのグリーン預金による調達資金が充当された後は、調達資金額が調達資金から使途へ充当された累計額と一致するよう、また、使途へ充当された累計額が預金資金額を上回るように管理することとします。

4-2. 未充当資金の運用方法

未充当金額が発生した場合には、現金または現金同等物、短期金融資産等で運用します。

5. レポーティング方針

5-1. レポート方法

本グリーン預金による調達資金の使途に対する充当状況や環境改善効果等についての最新の情報を、ふくおかフィナンシャルグループおよび傘下銀行各行のウェブサイトにて一般に開示します。また、本グリーン預金による全ての調達資金が使途に充当された後においても、大きな状況の変化が生じた場合は、適宜開示します。

年度レポート： 1年に1度実施します。

5-2. 開示内容

レポートには以下の内容を含む予定です。

開示項目	内容
充当状況	・ 充当したプロジェクトの内容 ・ グリーン預金残高 ・ 融資残高 ・ 未充当金額
環境改善効果	CO2 排出削減（見込）量

5-3. レポーティング体制

年度レポートは、営業統括部が主管として作成することとし、預金調達資金に関する情報収集・記載事項の確認、環境改善効果に関する情報収集・記載事項の確認を実施します。

6. 外部レビュー方針

ふくおかフィナンシャルグループは、本借入時に、本グリーン預金フレームワークが、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則」の趣旨に準じているという観点から、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、セカンドオピニオンを取得しております。

以上